

# 備えあれ、 あの大水を忘れない。

## のべおかの防災・減災を考える シンポジウム

同時開催

- ◆ロビーでの防災パネル展
- ◆降雨体験機・災害対策用機械の防災ブース展示

観測史上最高水位を記録した大洪水が街を襲った平成17年9月6日から10年。  
全国各地で未曾有の集中豪雨による被害が多発している昨今、  
過去の災害から得た教訓を振り返り、地域の防災力を高め未来へ備えるシンポジウムを開催致します。  
洪水・土砂災害に強い地域づくりを考えるため、ふるってご参加ください。

開催 平成27年6月14日(日) 13:00~16:50

会場 野口記念館 延岡市東本小路119-1

主催 九州地方整備局、延岡河川国道事務所、宮崎河川国道事務所、  
宮崎地方气象台、宮崎県、延岡市

後援 NHK宮崎放送局、MRT宮崎放送、UMKテレビ宮崎、(株)ケーブルメディアワイワイ、宮崎日日新聞社  
夕刊デイリー新聞社、エフエム宮崎、FMのべおか、延岡市自主防災組織連絡協議会、NPO法人 宮崎県防災士ネットワーク

入場  
無料

### 第一部

基調講演 題目:「これからの防災・減災-水害・土砂災害を中心として-」

一般財団法人 水源地環境センター 審議役 (前国土交通省水管理・国土保全局長)  
森北 佳昭 氏 (もりきた よしあき)

京都大学大学院工学研究科修了。S56年建設省入省。九州地方整備局河川部長、国土交通省水管理・国土保全局治水課長、関東地方整備局長、水管理・国土保全局長などを経て、現在水源地環境センター審議役。

### 第二部

パネルディスカッション 題目:「災害の教訓を生かす~自助・共助・公助~」

将来、再び起こりうる大水害に備えるためには、平成17年9月の台風14号災害の教訓を生かし、自分や家族、企業や地域コミュニティ、そして行政といった各主体が取るべき対応を事前に考え、地域防災力をさらに高めていく必要がある。

台風14号災害の当時、各主体がどのような経験をし、対応したのか。実体験から得られた教訓を振り返りつつ皆で共有し、自助・共助・公助の観点から災害に備えるための連携方策を議論しながら、今後の防災・減災のまちづくりの方向性を見出す。

基調講演 題目:「平成17年台風14号大水害の教訓」

宮崎大学名誉教授 (土木学会台風14号災害緊急調査団長)  
杉尾 哲 氏 (すぎお さとる)

九州大学工学博士。宮崎大学名誉教授。NPO法人大淀川流域ネットワーク代表理事、河川生態学術研究会五ヶ瀬川水系研究グループ代表等、九州管内の河川における学識者として活躍。五ヶ瀬川ではH9、H17と2度にわたる激特事業にも携わる。五ヶ瀬川かわまちづくり検討会、五ヶ瀬川分派施設技術検討会等の委員長にも就任。

# 平成17年9月台風14号大水害10年行事 のべおかの防災・減災を考えるシンポジウム

## <プログラム>

13:00~13:10	開会	主催者挨拶	<b>金尾 健司</b> (九州地方整備局長) <b>首藤 正治</b> (延岡市長)
13:20~15:00	第一部	基調講演	<b>森北 佳昭</b> (一般財団法人 水源地環境センター) <b>杉尾 哲</b> (宮崎大学名誉教授)
15:10~16:40	第二部	パネルディスカッション コーディネーター パネリスト	<b>杉尾 哲</b> (宮崎大学名誉教授) <b>首藤 正治</b> (延岡市長) <b>図師 雄一</b> (宮崎県県土整備部長) <b>森川 幹夫</b> (九州地方整備局河川部長) <b>大塚 法晴</b> (元延岡河川国道事務所長) <b>猪狩 信浩</b> (NPO法人 宮崎県防災士ネットワーク会長) <b>福島 宏一</b> (元延岡市消防団長) <b>亀長 馨</b> (元北方町川水流区長)
16:50	閉会		

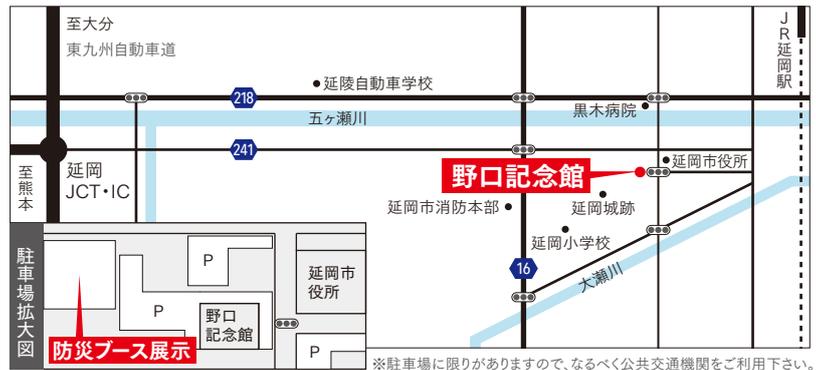


※プログラムは都合により変更する場合があります。

## 会場のご案内

**野口記念館** 延岡市東本小路119-1  
tel/fax 0982-32-3745

JR日豊本線	JR延岡駅からタクシーで約15分
東九州自動車道	延岡JCT/IC「22番出口」より 「延岡市街地」方面へ約5分
熊本空港	車で約2時間20分
大分空港	車で約2時間30分
宮崎空港	JR宮崎空港駅よりJR延岡駅まで約1時間10分 車で約1時間30分



※駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。

## <今後のスケジュール>

### みやざきの防災・減災を考える 今後のスケジュール(予定)

※今回のシンポジウムを皮切りに、県内で防災・減災企画を開催予定です。

平成27年8月頃 <b>紙面インタビュー</b> テーマ案『あの大洪水から10年! 県下を襲った台風14号を忘れない』 関係行政機関等による紙面インタビュー	平成27年7~10月頃 <b>パネル展リレー(関係自治体)</b> テーマ案『台風14号の水害と治水対策』 展示場所: 宮崎県庁、宮崎県内関係市町村の役所内ロビー等(予定)
---	---

## <参加申込書> 下記のとおり参加します。

申込日	平成27年	月	日	官公庁名・会社名	
連絡担当者	所属部署			氏名	
所在地	〒( )				
TEL	( )	-	FAX	( ) -	
出席者	氏名(ふりがな)	所属部課			課
	氏名(ふりがな)				課
	氏名(ふりがな)				課

※ご提供いただきました個人情報は本シンポジウムのみで使用し法律に基づき適正に管理します。

## <問合せ先・事務局>

国土交通省 九州地方整備局 延岡河川国道事務所 調査第一課  
tel.0982-31-1155 fax.0982-33-6907 email.nobeoka@qsr.mlit.go.jp  
URL. http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/

# FAX.0982-33-6907